

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	コミュニティプラザ改修事業				会計	款	項	目	大事	小事
					01	05	01	02	01	60
政策	05	5節 賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）			主管課	商工振興課				
施策	5-3	誰でもが安心して働ける環境・基盤づくり			主管課長	渋谷 俊之				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	施設利用者	意図	勤労者総合福祉センター・勤労者体育施設を充実させることにより、利用者の利便向上を図る。
事業内容	老朽化に伴うコミュニティプラザの計画的な改修整備を行い、利用者の利便向上を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	勤労者の福利厚生施設として、平成2年に勤労者総合福祉センターを、平成3年に勤労者体育施設を開館し、建築後27年を経過している。各施設の老朽化による改修も、平成18年度の屋根及び防水改修をはじめ、平成27年度エレベーター改修、平成29年度プール棟の屋根を膜式屋根に改修やESCO事業による空調及び照明設備等の改修を行い、平成30年度からESCO事業サービスの提供を受け、施設利用に必要な維持管理に努めている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	施設利用者	153,187	146,717	157,737	人	↑↑↑	
②	施設の稼働率	80.70	80.30	86.60	%	↑↑↑		
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・平成23年度まで、事業単位で基本計画へ位置付け、改修事業を実施してきたが、老朽化に伴う計画的な改修の必要性から、本事業の中で一本化する。 ・平成30年度からESCOサービス事業が提供され、光熱水費等の削減が達成。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		16,381,960	54,899,760	1,447,290				
事業費(b)(円)		15,661,080	53,463,580	1,280,000				
うち一般財源		15,661,080	53,463,580	1,280,000				
職員給与費(c)(円)		720,880	1,436,180	167,290				
人役・職員(人)		0.10	0.20	0.02				
人役・再任用(人)			0.03	0.01				
人役・臨職(人)		0.02	0.02	0.01				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	勤労者体育施設（プール棟）の雨樋補修	③取組における課題(Check)	開館から27年を経過し、施設の老朽化による備品の劣化等が各所にみられる。
②H30に実施した取組(Do)	雨漏り箇所の雨樋を補修	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	老朽化による施設各所の改修や劣化する備品の更新等、公共施設の営繕に関する予算計上意見制度及び後期基本計画に位置付けし、施設の維持に努めたい。